

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

私は高校生の頃から1年ほど留学したいと思っていました。ここ同志社女子大学ではそれを達成することができそうです。だからここを受験しようと決めました。

更に学校の雰囲気がとても良く、オープンキャンパスに行った際には先輩方に優しく

していただき、その点も決め手の1つとなりました。

- (2) 推薦入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕

塾には通っていましたが、正直に言うとまだ受験生としての心構えができていなかったと思います。しかし学校で定期的に英単語・古典単語の小テストがあったので、いく回小テストとはいえ予習を疎かにせず、しっかりと挑みました。

〔夏休み〕

文化祭の準備や練習がありました。夏休みはほぼ毎日朝から夜まで塾で勉強していました。夏休みの間はまた過去問はせず、自分の持っている問題集を解いていました。もっと前から過去問を解いておけば良かったと夏休みの終わり頃に後悔したので、みんなは気をつけて下さい!!

〔2学期～入試直前〕

本格的に過去問を解き始めました。やはり過去問を何回も解くことが一番の勉強法だと実感しました。古文の問題は慣れが必要だと思ったので同志社女子大学のものだけでなく、他に受けるつもりだった大学の過去問も並行して解きました。今思えばそれは良かったと思います。

本番直前はひたすら古典単語・英単語をくり返し復習していました。

直前にゲームを受けるのが怖かったので、あまり過去問は解かないように

しました。ちなみに私が使っていたのは英語がシス単とビンテージ!、古文がマンガとゴロで100%丸暗記古文単語というものでした。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

高校生最後の行事だったので、それぞれの行事は受験のことは忘れて精一杯

楽しめました。やはり高3の文化祭や体育祭は一番の思い出になると思うので

ONとOFFの切り替えを大切にして全力で楽しんで下さい!! 健康面ではそこまで

気にかけていませんでしたが、直前はマスクをするようにしていました。

私はテレビやスマホを遮断すると逆にストレスが溜まってしまうので塾から

帰ってきてテレビを見た、SNSを見ることを楽しみに勉強を頑張りました。

また、気分転換に好きな音楽も聴いたりしていました。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

1日中ずっと勉強という日々がこれから1年間続くのか...と思った高3の4月は本当に不安でいっぱいでしたが、みんな思っていることは同じで、だからこのクラスの結束力が

高くて、みんなで応援し合ったり励まし合ったりしていました。みんなの力は1人じゃ

ありません! 友達と支え合って頑張ってください!!